

# PowPak® | 取付方法

リレーモジュール

Energi TriPak®ファミリー製品

041-385 Rev. A 06/2012

RMP-16R-JA-B (Softswitch®付き)

100 V~ 50/60 Hz 16 A  
モータ: 1000 W at 100 V~

RMP-16RCCO1-JA-B (Softswitch®および在室状態接点出力付き)

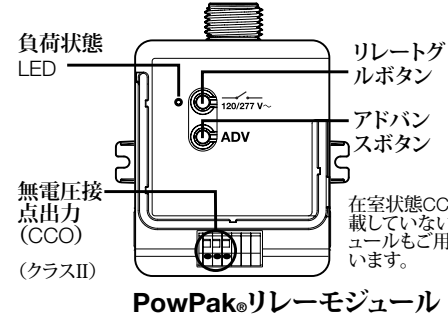
## 重要事項:製品を取り付ける前に、必ずお読みください。

- 製品の取付は、資格を有する電気工事が電気関係法令に従って行う必要があります。
- 注:配線は適切な銅線を使用してください。
- 本品の仕様と定格が用途に適していることを確認してください。
- 製品に損傷がある場合は、**使用しないでください。**
- 本品に結露が明らかに付着している場合は、製品を完全に乾かして取り付けてください。
- 動作周囲温度0°C - 55°C 相対湿度90%以下(無結露)。
- 室内での使用に限ります。

## 必要部品

システムごとに次の部品を用意する必要があります。

PowPak® リレーモジュール(最低1個)  
(在室状態CCOオプション)



ワイヤレストランスミッタ(最低1個)



Radio Powr Savr™  
昼光センサー  
(最大1個)

Pico®ワイヤレス  
トランスミッタ  
(最大9個)

## 限定保証

ルートロンアスカ株式会社は、その裁量により、ご購入より1年間を限度として、ルートロンアスカ株式会社の責めに帰すべき事由により生じた製造上の欠陥のある本製品またはその部品(付属品を除きます)を修理または交換いたします。修理または交換にあたっては、不具合の生じたユニットをルートロンアスカ株式会社に返送していただく必要があります。詳細については、ルートロンアスカ株式会社までお問い合わせください。

本製品の保証は、本条項記載のものに限られます。本製品の保証の対象からは、取り付け、配線、取り外し、誤用、乱用、不十分・不適切な修理に起因する本製品の不具合、本製品の不具合により本製品以外の生命、身体、財産に生じた損害、特別の事情から生じた損害、逸失利益は除かれます。また、ルートロンアスカ株式会社が、本製品の製造上の欠陥に起因して生じた損害につき負う責任は、本製品の購入価格を限度とします。

本製品の保証に関する準拠法は、日本法とします。本製品の不具合から生じた紛争については、東京地方裁判所を、第一審における専属的合意管轄裁判所とします。

Lutron, Pico, PowPak, Energi TriPak, Softswitchおよびは登録商標です。Radio Powr Savrは、Lutron Electronics Co., Inc.の商標です。

©2012 Lutron Electronics Co., Inc.

## CCOに関する情報

- RMP-16RCCO1-JA-Bモデルには、無電圧接点出力が搭載されています。これにより、ビル管理システムやHVAC、VAVコントロールなどの他社装置に在室状態を伝えることができます。
- 接点には常時閉接点(NO)と常時開接点(NC)の継続タイプの出力をご使用いただけます。
- 接点の定格は、最大電圧24Vでの抵抗負荷への切り替えのみとなっています。リレー、ソレノイド、モーターなどの誘導電圧タイプを適切に制御するには、アプリケーションノート#434を参照してください。

スイッチ電圧	抵抗負荷	抵抗
0-24 V~	1.0 A	
0-24 V~	0.5 A	

## アンエフェクトモード

本モードを使用すると、複数のリレーモジュールに関連付けた在室センサー付き装置を、選択した負荷のみ自動的にオンになるよう設定できます。この場合、ほかの負荷はPico®ワイヤレストランスミッタを用いて手動でオンにする必要があります。室内が不在状態になると、すべての負荷が自動的にオフになります。

**A** リレーモジュールのリレートグルボタンと高度動作("ADV")ボタンを、LEDが速く点滅し始めるまで6秒間押し続けます。

**B** 関連付けた在室センサーの"Test"ボタン\*を、レンズが点滅するまで6秒間押し続けます。

**C** 影響なしモードは自動的に終了します。設定後のリレーモジュールは、在室コマンドの影響を受けなくなります。追加のデバイスに対して同じ手順を繰り返してください。

\* "Test" ボタンがない場合は、"Lights Off" ボタンを押してください。  
注:CCOは、影響なしモードとして設定できません。

## 工場出荷時設定へのリセット

注:場合によっては、PowPak®リレーモジュールを工場出荷時設定にリセットする必要があります。

**A** リレーモジュールのアドバンスボタンを3回軽く押してから、LEDがゆっくりと点滅し始めるまで押し続けます。

**B** LEDが3秒間点滅している間にボタンからいったん手を離してから、再度3回軽く押します。LEDが速く点滅し、工場出荷時設定にリセットされたことを示します。

注: 本装置の関連付け設定や既存のプログラミング設定が消去されるため、プログラミングし直す必要があります。

## トラブルシューティング [www.lutron.com](http://www.lutron.com)

- 負荷がワイヤレストランスミッタに反応しない
- PowPak®リレーモジュールに接続したプレーカーに電源が入っているかどうか確認してください。
  - 負荷設備がPowPak®リレーモジュールに適切に接続されているかどうか確認してください。
  - ワイヤレストランスミッタがPowPak®リレーモジュールに適切に関連付けられているかどうか確認してください。
  - ワイヤレストランスミッタの電池が正しく取り付けられているかどうか確認してください。

- ワイヤレストランスミッタをPowPak®リレーモジュールに関連付けられない
- PowPak®リレーモジュールに、最大数のワイヤレストランスミッタが関連付けられています。以前に設定したワイヤレストランスミッタを取り外すには、ワイヤレストランスミッタの関連付けに使用したボタンを3回軽く押し、3回目に押した時にそのまま3秒間押し続けてから、さらに3回軽く押しします。

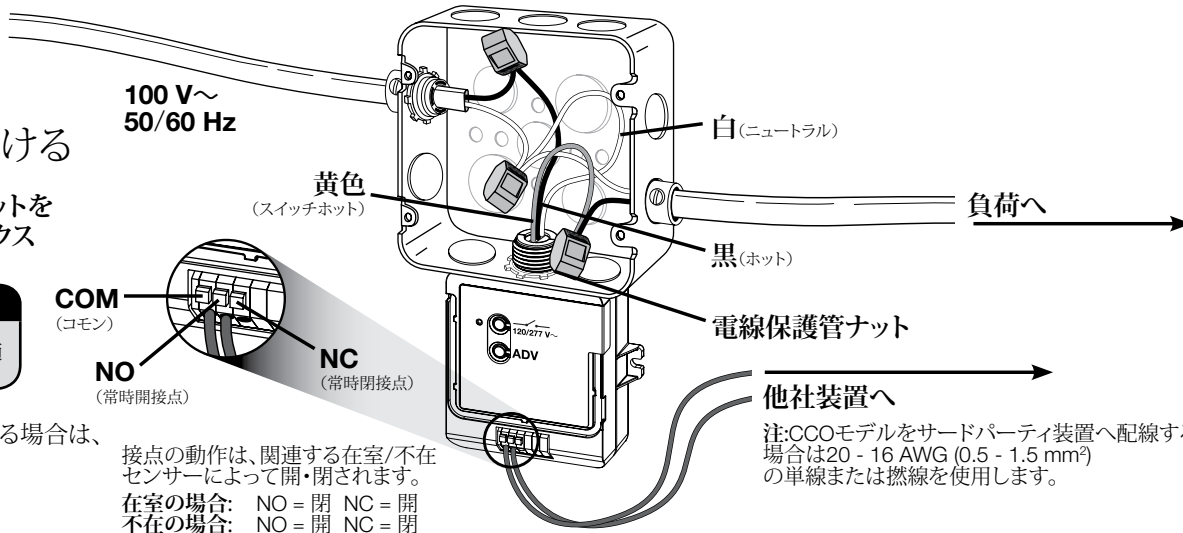
## はじめに

**1** PowPak® リレーモジュールを取り付ける  
PowPak®リレーモジュールを取り付ける場合、付属の電線保護管ナットを用いてモジュールをジャンクションボックスに固定してください(右図を参照)。

**推奨取付場所**  
室内中央に取り付けてください。これにより適切なRF範囲が確保されます。

ジャンクションボックス内へ装置を取り付ける場合は、製品仕様書を参照ください。

詳細情報の参照先:[www.lutron.com/jp](http://www.lutron.com/jp)



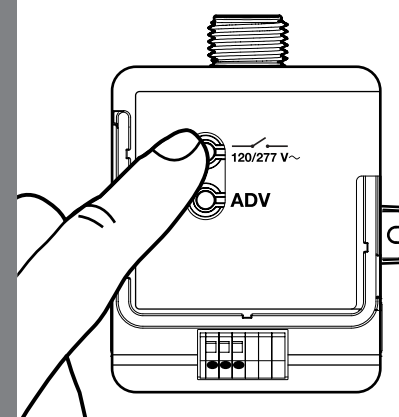
接点の動作は、関連する在室/不在センサーによって開・閉されます。  
在室の場合: NO = 閉 NC = 開  
不在の場合: NO = 開 NC = 閉

## 2 ワイヤレストランスミッタをPowPak®リレーモジュールに関連付ける

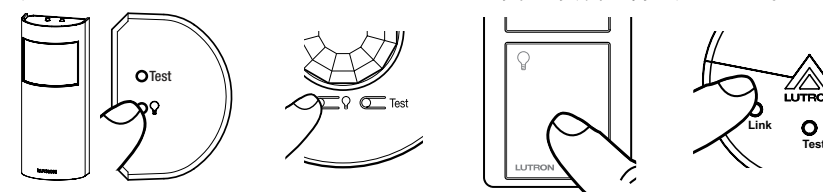
この手順を開始する前に、ほかのPowPak®モジュールが同じビル内に取り付けられていないことを確認してください。ほかの装置のワイヤレストランスミッタが、本装置に誤って関連付けられる可能性があります。

**A** PowPak®リレーモジュールのリレートグルボタンを6秒間押し、関連付けモードを表示します。

**B** ワイヤレストランスミッタの指示ボタンを6秒間押ししたまま、デバイスを関連付けます。  
追加のワイヤレストランスミッタについても同じ手順を繰り返します。



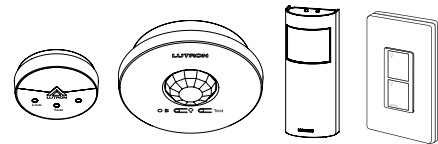
注:各手順が完了すると、完了状態を示すために負荷が点滅します。



\* Q ボタンがない場合は、"Lights Off" (照明オフ) ボタンを押してください。

**C** PowPak® リレーモジュールのリレートグルボタンを6秒間押し、関連付け設定を終了します。

## 3 ワイヤレストランスミッタを適切な場所に取り付ける



注:詳細については、個別の部品取付マニュアルを参照してください。

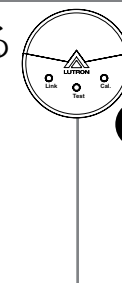
## 4 昼光センサーを設定する

**A** PowPak®リレーモジュールのリレートグルボタンまたは関連付けたPico®を用いて室内の照明を点灯します。

**B** 関連付けた昼光センサーの"Cal." ボタンを6秒間押し続けてください。

**C** 退出後5分間で校正が完了します。

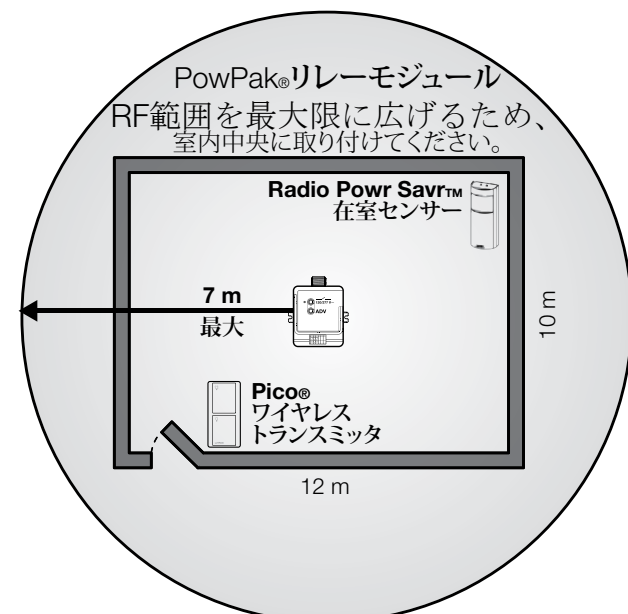
注:校正が完了すると全照明が点滅し、昼光モードになります。



### チューニング(オプション)

**A** 昼光センサー1個で複数のリレーモジュールを用いて、複数のゾーンに異なる昼光レベルで照明を点灯する場合は、昼光センサー(LRF2-DCRB)取付説明書のチューニング手順に従ってください。  
取付説明書に記載されている調光/スイッチボタンの代わりに、リレートグルボタンを使用してください。

**警告** 感電の危険があります。死亡または重傷を負うおそれがあります。本装置を取り付ける前に、サーキットブレーカーの電源を切ってください。



ワイヤレストランスミッタはすべてPowPak®リレーモジュールから7mの範囲内に取り付けする必要があります。

## 電線

直径1.6 mmまたは2.0 mmの銅線を使用してください。燃線の場合は、絶縁被覆付き圧着端子(棒形)を使用してください。

